

民生委員・児童委員アンケート 調査結果報告書

令和6年1月

埼玉県福祉部社会福祉課

目次

第1章 調査概要	2
1. 調査目的.....	2
2. 調査期間.....	2
3. 調査方法.....	2
4. 調査対象.....	2
5. 回収率.....	2
6. 調査主体.....	2
7. 報告書の見方.....	2
第2章 回答者属性	3
1. 性別.....	3
2. 年齢.....	3
3. 職業.....	4
4. 経験年数.....	4
5. 主任児童委員の割合.....	4
第3章 調査結果	5
1. 民生委員活動の中で、対応することが多い活動.....	5
2. 1か月あたりの平均的な活動日数.....	5
3. 民生委員・児童委員を引き受けた動機.....	6
4. 民生委員活動に「やりがい」を感じるかどうか.....	6
5. 民生委員活動において「やりがい」を感じること(自由記載).....	7
6. 民生委員活動において負担を感じていること.....	8
7. 業務量が多いと感じること.....	8
8. 「民生委員活動の範囲を超えると考える活動」とはどのような活動か(自由記載).....	9
9. 民生委員活動を行いやすくするために必要なこと.....	9
10. なり手不足の理由.....	10
11. なり手を増やすために必要なこと.....	10
12. 活動の負担軽減を図るために有効なこと(自由記載).....	11
参考資料	12

第1章 調査概要

1. 調査目的

現在、地域福祉の担い手として民生委員・児童委員に大きな期待が寄せられる一方、負担が大きいといった声が寄せられるなど「なり手不足」の課題も指摘されている。本調査は、埼玉県における民生委員・児童委員の実態と課題を把握し、民生委員・児童委員の活動しやすい環境づくりや、なり手確保に向けた取組の検討を行うための資料とすることを目的として実施した。

2. 調査期間

・令和5年5月31日(水曜日)～8月31日(木曜日)

3. 調査方法

紙媒体(アンケート用紙への記入)による回答
市町村が定例会などで配布・回収

4. 調査対象

さいたま市を除く埼玉県内62市町村の民生委員・児童委員及び主任児童委員(R5.5.1 現員数:8,951人)

5. 回収率

89.9%(回収数8,048人)

6. 調査主体

埼玉県福祉部社会福祉課

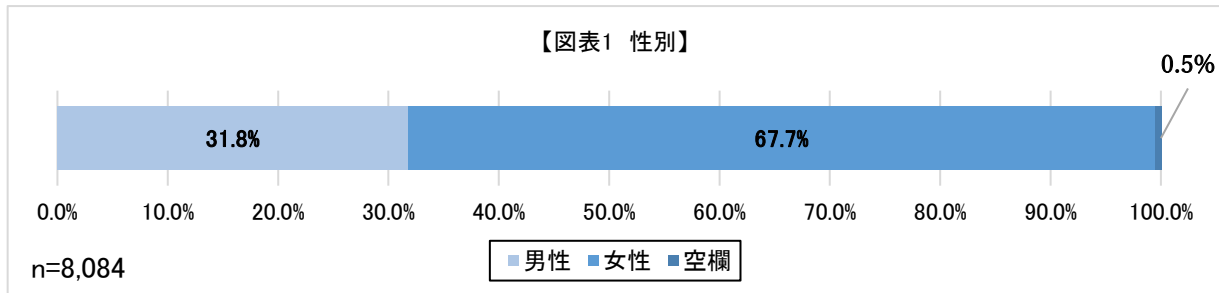
7. 報告書の見方

- ・調査数(n=number of cases)とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のこと。
- ・比率(%)はすべて「調査数」を基数として算出している。表示は小数点第2位で四捨五入し、第1位までとなっており、そのため比率の合計が100%を上下する場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる質問(複数回答)でも比率は同様に算出しているため、回答合計は回答者数(100%)を超える場合がある。
- ・調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

第2章 回答者属性

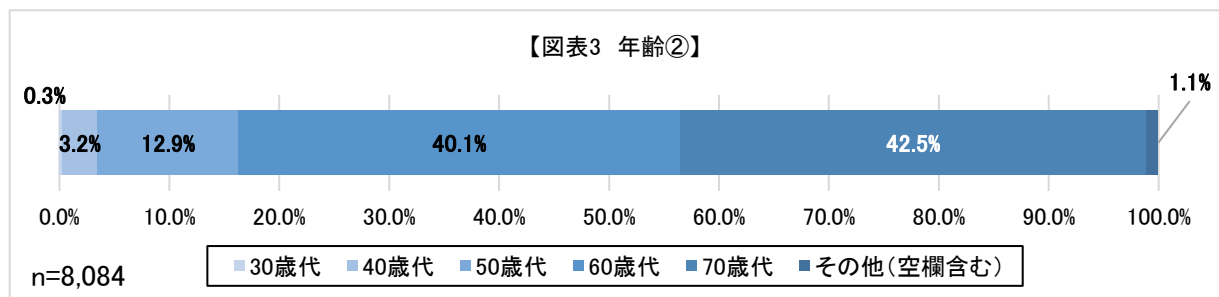
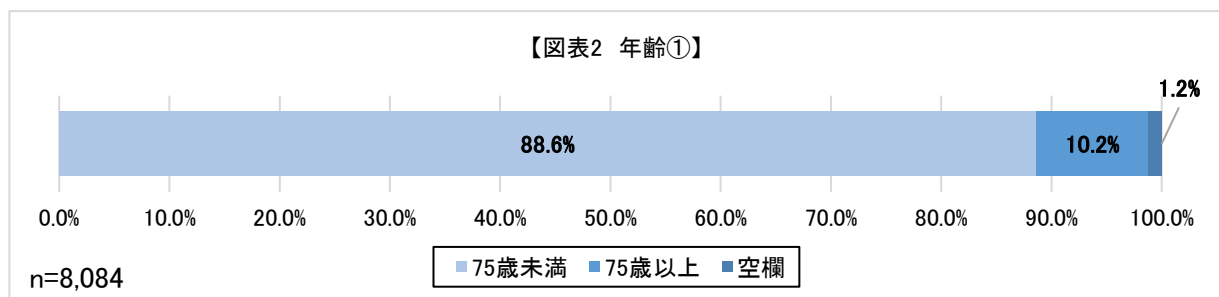
1. 性別

回答者の性別は、「男性」が31.8%、「女性」が67.7%となった。



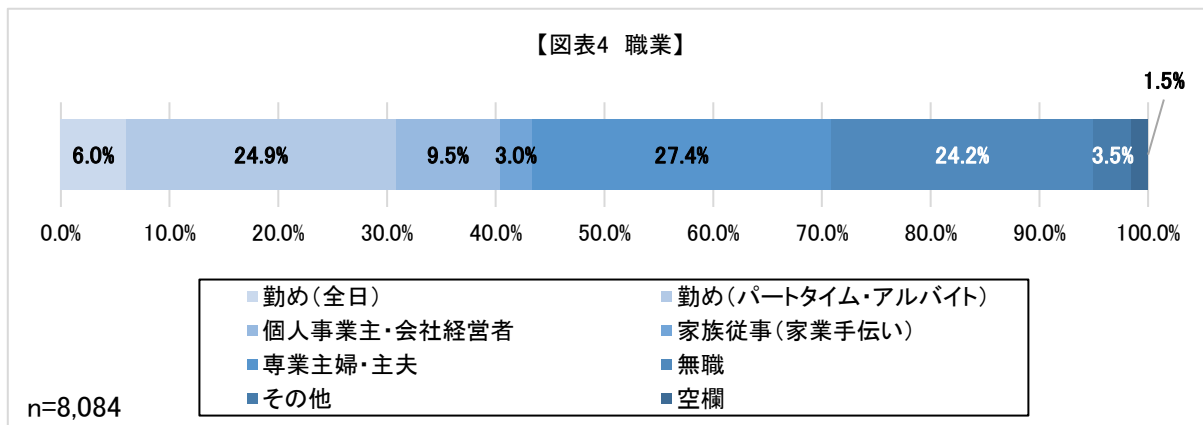
2. 年齢

回答者の年齢は「75歳未満」が88.6%であり、年代別に見ると「70歳代」「60歳代」が82.6%となった。



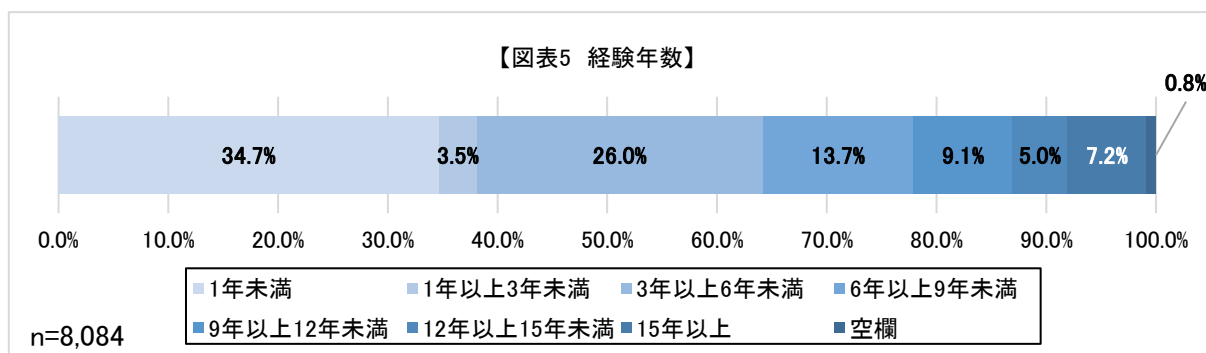
3. 職業

回答者の職業は「専業主婦・主夫」が 27.4%と最も多く、次いで「勤め(パートタイム・アルバイト)」、「無職」が 24.9%となった。



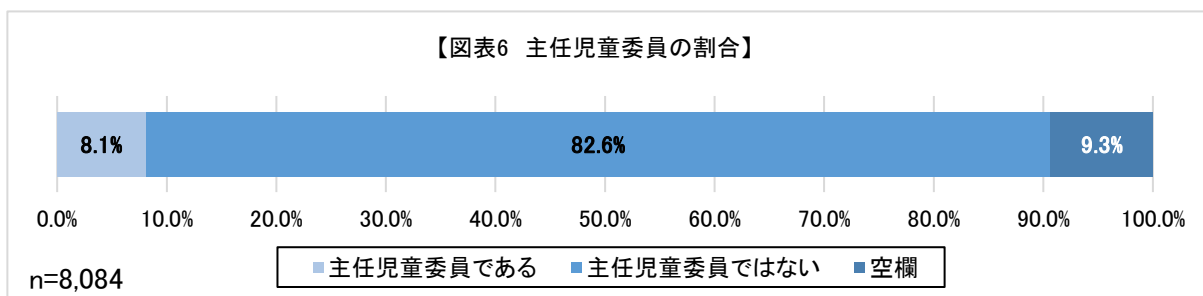
4. 経験年数

回答者の経験年数は「1年未満」が 34.7%と最も多く、次いで「3年以上6年未満」が 26.0%となった。



5. 主任児童委員の割合

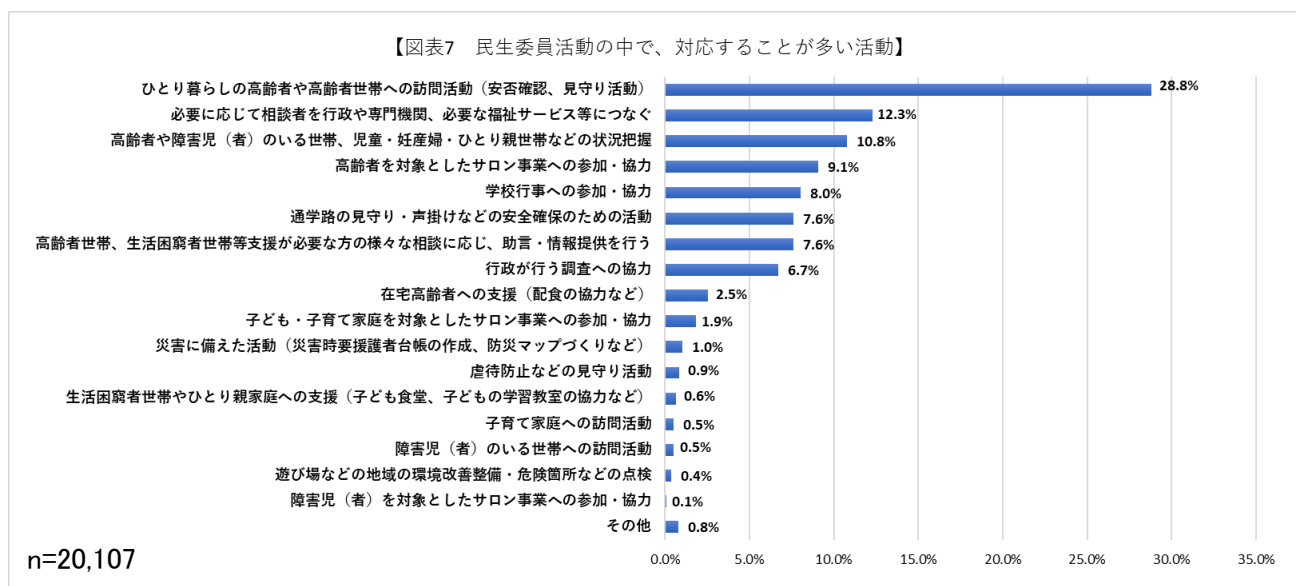
回答者のうち「主任児童委員である」と答えたのは、8.1%であり、「主任児童委員ではない」と答えたのは、82.6%となった。



第3章 調査結果

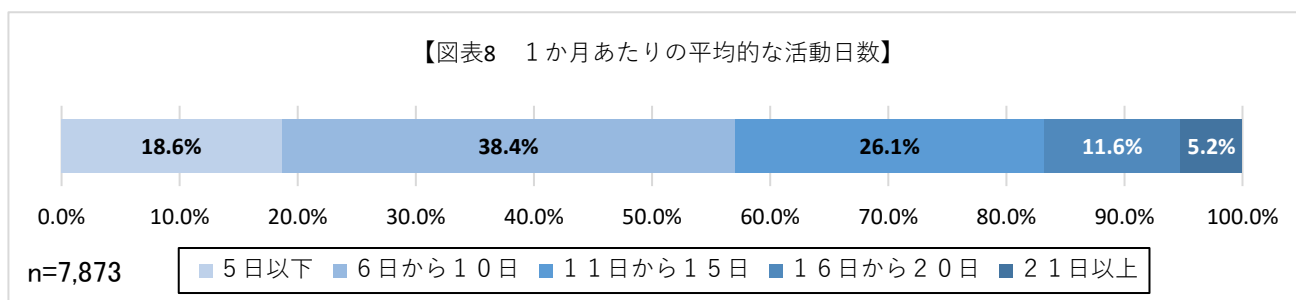
1. 民生委員活動の中で、対応することが多い活動

「ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯への訪問活動（安否確認、見守り活動）」が 28.8%と最も多く、次いで「必要に応じて相談者を行政や専門機関、必要な福祉サービス等につなぐ」が 12.3%となった。



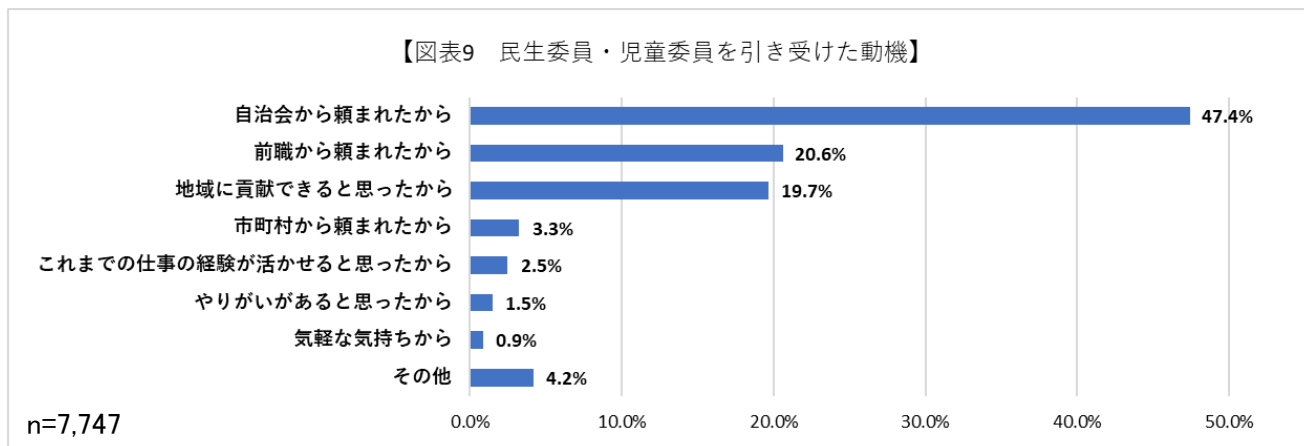
2. 1か月あたりの平均的な活動日数

「6日から10日」が 38.4%と最も多く、次いで「11日から15日」が 26.1%となった。



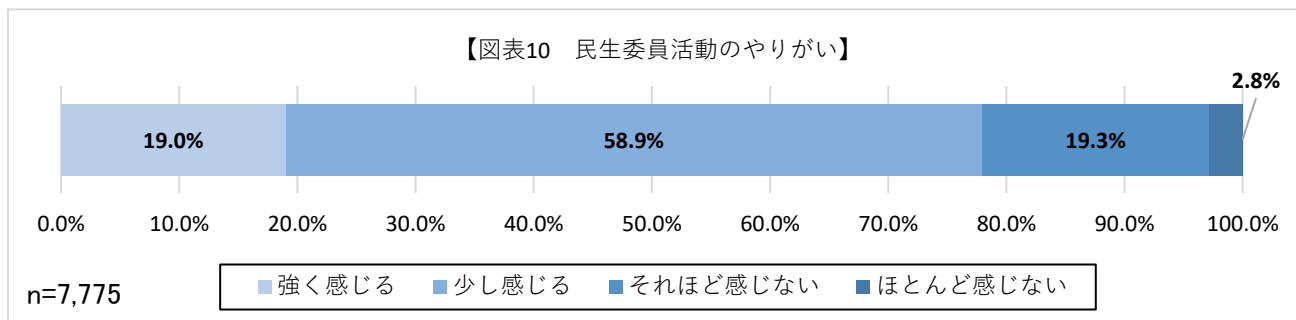
3. 民生委員・児童委員を引き受けた動機

「自治会から頼まれたから」が 47.4%と最も多く、次いで「前職から頼まれたから」が 20.6%、「地域に貢献できると思ったから」が 19.7%となった。



4. 民生委員活動に「やりがい」を感じるかどうか

「やりがいを感じる」と答えたのは、77.9%となった。



5. 民生委員活動において「やりがい」を感じること(自由記載)

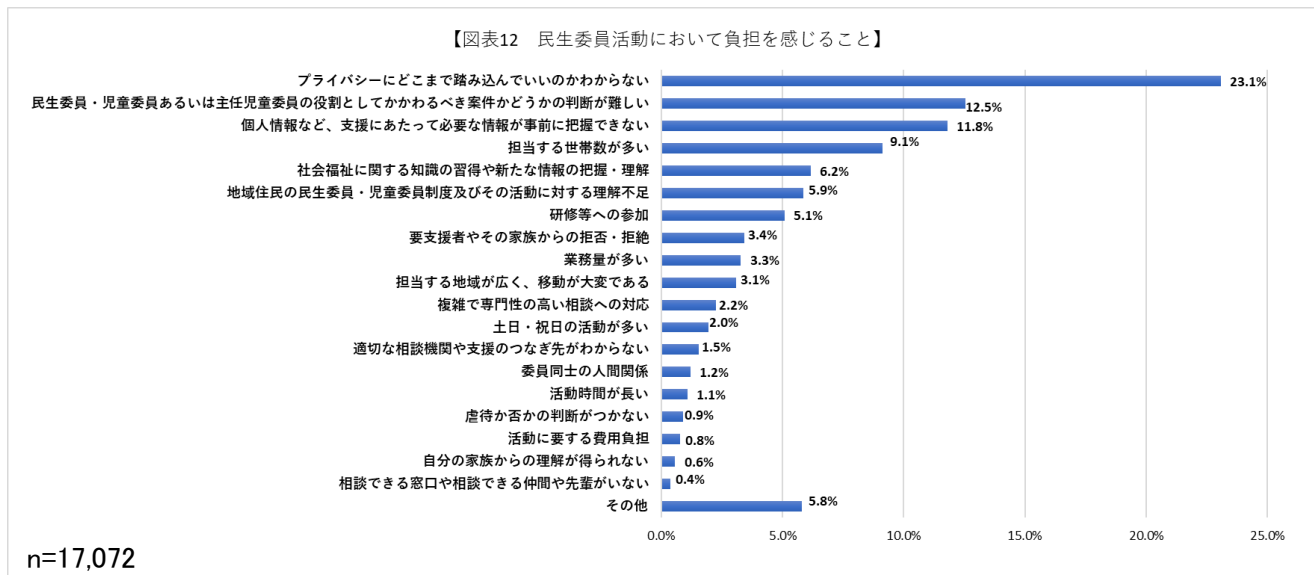
主な回答は下記の通り。

【図表 11 民生委員活動においてどのようなことに「やりがい」を感じるか(自由記載)】	
・生活に困っていると相談を受けて、行政や専門機関につなげ 相談者がホッとした顔をしてくれた時	・お年寄との交流でお年寄と話したり、お年寄の笑顔が見られ たりする時やサロン活動で喜んでもらった時
・いきいきサロン、百歳体操をしています。自分も元気になりま す。皆さんが楽しいと喜んで来てくれると自分もうれしくなりま す	・生活上の困り事等について相談されて、うまく行政や福祉の 機関につなぐことができ、相談者にとって良い結果が得られた 時
・話をした時に心が通じたなと感じた時	・会って話ができるのがうれしいと言われた時等
・単身高齢者宅を訪問した時「あなたで良かった」と言ってい ただいた時	・地域の方から訪問を楽しみにしていただけの事
・登校見守りで交す児童とのあいさつと児童の笑顔	・地域の方々とのつながりが持てるようになった
・運営している子育てサロンで、参加した母親が笑顔になり再 度参加してくれた時やりがいを感じる	・これまでの仕事の経験を生かしながら、行政サービス等へつ なぐことが出来る
・地域コミュニティに協力、活躍出来ること	・困っている事を解決するお手伝いが出来た時
・今まで知る事のなかった地域の方々や日々の生活の出来事 を通して良い事も困り事も共に相談しあえる事	・見守り活動を通して地域や高齢者の方々と話したりする事で 私自身も元気をもらっていると感じます
・見守っている方や、相談された人に「ありがとう」と言われた 時	・今まであまり話すことがなかった人達と話し、様子を知ること ができるようになった
・地域のボランティアに協力し、参加した方が喜んでる姿を みた時	・声かけや給食サービスなどで訪問した際にお礼の言葉をい ただけること

(5,138 件のうち 20 件を抜粋)

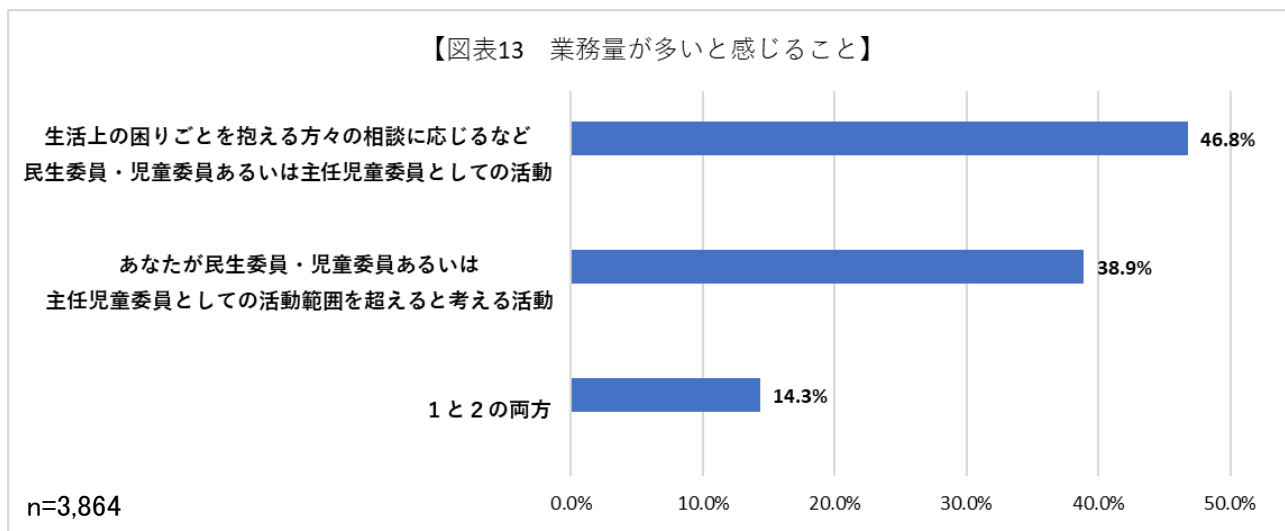
6. 民生委員活動において負担を感じていること

「プライバシーにどこまで踏み込んでいいのかわからない」が23.1%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員あるいは主任児童委員の役割としてかかわるべき案件かどうかの判断が難しい」が12.5%となった。



7. 業務量が多いと感じること

「生活上の困りごとを抱える方々の相談に応じるなど民生委員・児童委員あるいは主任児童委員としての活動」が46.8%と最も多く、次いで「あなたが民生委員・児童委員あるいは主任児童委員としての活動範囲を超えると考ええる活動」が、38.9%となった。



8. 「民生委員活動の範囲を超えると考える活動」とはどのような活動か(自由記載)

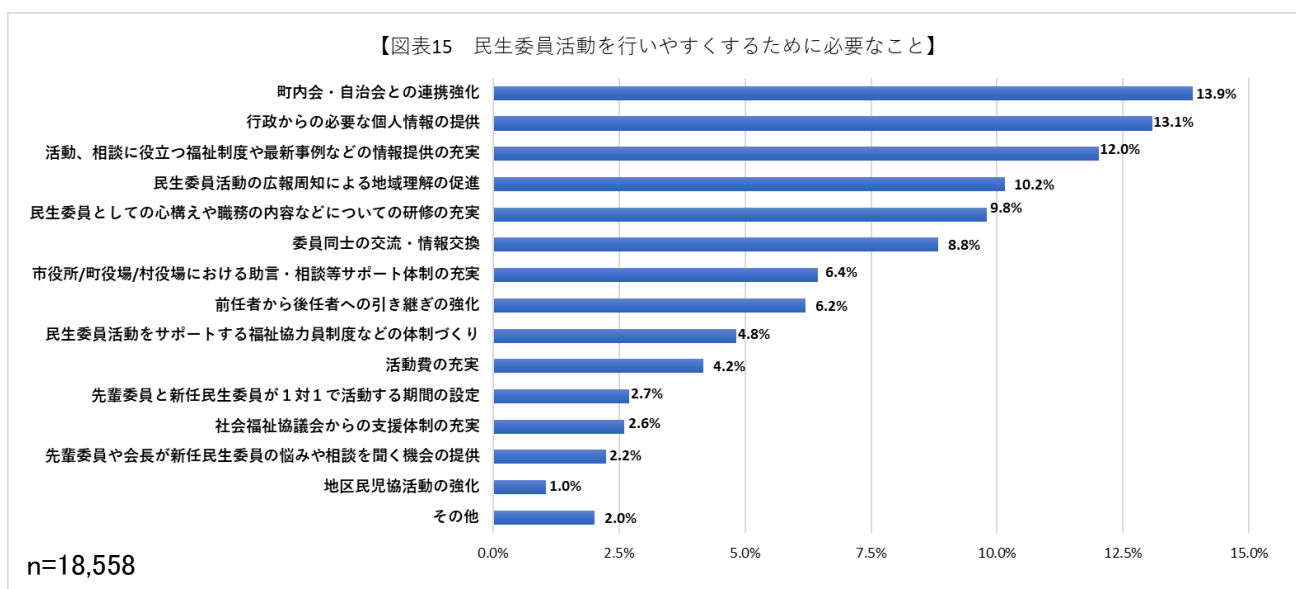
主な回答は下記の通り。

【図表 14 「民生委員活動の範囲を超えると考える活動」とはどのような活動か(自由記載)】	
・生活をしていく上での苦情処理や近隣のトラブルなどの苦情までが問い合わせになって入ってくる事	・自分の生活で、夜間や休日 etc、関係なく対応をしなくてはならない場合が多々ある
・町会行事への参加	・地域の公民館活動等の参加、学校への行事参加
・あて職が多すぎる	・役所・病院等への同行
・自治会活動全般に関わる事への協力	・一人暮らしの方が亡くなった時の警察対応等
・行政等からの頼まれ仕事(チラシ、パンフレット等の配布など)	・生活保護等を受けている方の相談において、食べ物や金品の要求等があり、市等へ相談したが具体的な回答が得られなかったこと
・地域での兼任	・募金活動
・対象者のプライベートな部分に関する相談・支援	・就業しているにもかかわらず、昼間の予定が多い
・地域包括支援センターからの依頼で住民の調査など	・学校事業(運動会・入卒行式等)への列席
・買物の依頼、車の送迎など	・寄付金集め
・委員食事会、バス旅行など	・選挙の立合い

(1,549 件のうち 20 件を抜粋)

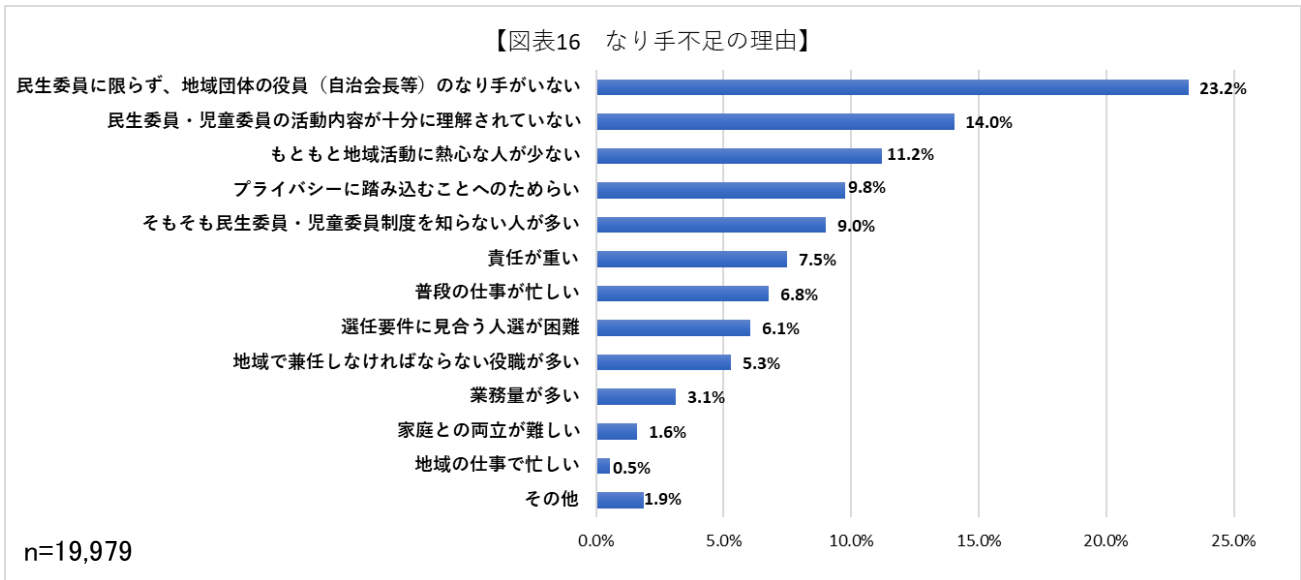
9. 民生委員活動を行いやすくするために必要なこと

「町内会・自治会との連携強化」が 13.9%と最も多く、次いで「行政からの必要な個人情報の提供」が 13.1%、「活動、相談に役立つ福祉制度や最新事例などの情報提供の充実」が 12.0%となった。



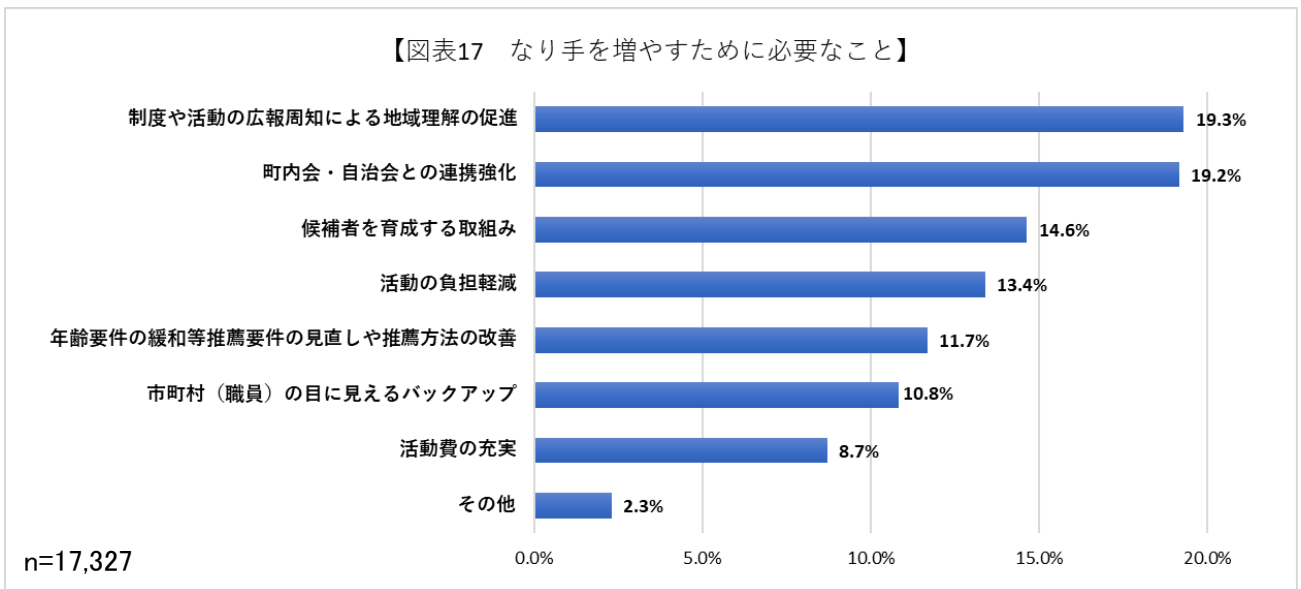
10. なり手不足の理由

「民生委員に限らず、地域団体の役員（自治会長等）のなり手がいない」が 23.2%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員の活動内容が十分に理解されていない」が 14.0%となった。



11. なり手を増やすために必要なこと

「制度や活動の広報周知による地域理解の促進」が 19.3%と最も多く、次いで「町内会・自治会との連携強化」が 19.2%となった。



12. 活動の負担軽減を図るために有効なこと(自由記載)

主な回答は下記の通り。

【図表 18 活動の負担軽減を図るために有効なこと(自由記載)】	
・担当世帯数を減らす	・兼任しなければならない役職を減らす
・行政の下請けの様な業務動員をなくす	・若い人材の確保
・民生委員を増やし、1人の負担を少なくする	・民生委員・児童委員を地域の人に周知してもらう
・研修のオンライン化	・行政からの必要な個人情報の提供
・活動費の充実	・活動範囲の明確化
・提出物や報告書などの業務の軽減	・社協、市町村のバックアップ
・前任者から引き継ぐ際、訪問対象者の状況など、もっと正確で詳しい情報提供があると有効	・定例会の時間、回数が負担。3年の任期も他の人に勤めにくい。若い力が必要なのにこの活動内容は厳しい。
・定例会やその他の会議等の数を減らす	・あて職や分担で民生委員の活動以外のものが発生することが多いので、軽減されるといい
・協会員制度などの体制づくりを強化する	・配布物や調査など少なくしてほしい
・会議の時間帯を夜とか、土日にしてもらいたい	・募金集金活動の廃止

(1,743件のうち20件を抜粋)

民生委員・児童委員活動に関するアンケート調査 ～調査ご協力のお願い～

日頃、民生委員・児童委員の皆様には地域の高齢者やひとり親世帯など、生活上の困りごとを抱える方々の相談に応じ、必要な支援につなぐなど多岐にわたる活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。

現在、地域福祉の担い手として民生委員・児童委員の皆様には大きな期待が寄せられる一方、負担が大きいなど様々な課題も指摘されております。

県では、市町村や埼玉県民生委員・児童委員協議会と連携し、民生委員・児童委員の皆様が更に活動しやすい環境づくりに向けて検討してまいりたいと考えています。

そこで、この度、民生委員・児童委員の皆様の声をお聞きし、今後の事業推進の参考とするために「民生委員・児童委員活動に関するアンケート調査」を実施することといたしました。

本調査は、結果をとりまとめて公表することを予定しておりますが、無記名による調査であり、かつ集計結果はすべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることは一切ございません。また、上記以外の目的でデータを使用することはございません。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、本調査の趣旨をご理解いただきご協力いただきますようお願いいたします。

令和5年5月
埼玉県福祉部社会福祉課

ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートは、現職の民生委員・児童委員及び主任児童委員の方に回答をいただくものですが、設問によっては回答される方を限定しています。
2. 回答は、原則として選択項目の中から当てはまる番号を○で囲んでいただきますが、一部、数字や「その他」の詳細について記載いただくところがあります。
3. 質問の進み方は、回答内容により、質問の前後に指示されていますのでそれにしがってください。
4. ご不明点などございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問合せ先】

埼玉県福祉部社会福祉課 社会福祉担当（民生委員・児童委員担当）
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1
電話 048-830-3221
メール a3270-10@pref.saitama.lg.jp

【すべての方にお聞きします。】

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

問2 あなたの年代についてお聞きします。

(1) あなたの年齢はどちらですか。(○は1つ)

1 75歳未満	2 75歳以上
---------	---------

※国では民生委員の年齢要件の基準を75歳未満とし、地域の状況を勘案して決めるとしており、本県では78歳未満としています。

(2) あなたの年代はどれに当たりますか。(○は1つ)

1 30歳未満	2 30歳代	3 40歳代	4 50歳代
5 60歳代	6 70歳代		

問3 民生委員・児童委員として何年務められましたか。(○は1つ)

1 1年未満	2 1年以上3年未満	3 3年以上6年未満
4 6年以上9年未満	5 9年以上12年未満	6 12年以上15年未満
7 15年以上		

問4 主任児童委員ですか。(○は1つ)

1 主任児童委員である	2 主任児童委員ではない
-------------	--------------

問5 どちらの市町村にお住まいですか。(○は1つ)

1 熊谷市	2 行田市	3 秩父市	4 所沢市
5 飯能市	6 加須市	7 本庄市	8 東松山市
9 春日部市	10 狭山市	11 羽生市	12 鴻巣市
13 深谷市	14 上尾市	15 草加市	16 蕨市
17 戸田市	18 入間市	19 朝霞市	20 志木市
21 和光市	22 新座市	23 桶川市	24 久喜市
25 北本市	26 八潮市	27 富士見市	28 三郷市
29 蓮田市	30 坂戸市	31 幸手市	32 鶴ヶ島市
33 日高市	34 吉川市	35 ふじみ野市	36 白岡市
37 伊奈町	38 三芳町	39 毛呂山町	40 越生町
41 滑川町	42 嵐山町	43 小川町	44 川島町
45 吉見町	46 鳩山町	47 ときがわ町	48 横瀬町
49 皆野町	50 長瀨町	51 小鹿野町	52 東秩父村
53 美里町	54 神川町	55 上里町	56 寄居町
57 宮代町	58 杉戸町	59 松伏町	60 さいたま市
61 越谷市	62 川越市	63 川口市	

問6 現在の就業状況は次のどれに当てはまりますか。(○は1つ)

1	勤め(全日)
2	勤め(パートタイム・アルバイト)
3	個人事業主・会社経営者
4	家族従事(家業手伝い)
5	専業主婦・主夫
6	無職
7	その他 ()

問7 担当する世帯数はいくつですか。

(の中に担当する世帯数を数字で記入してください。)

	世帯
--	----

問8 民生委員・児童委員あるいは主任児童委員の活動の中で、あなたに対応することが多い活動は何ですか。(○は3つまで)

1	高齢者や障害児(者)のいる世帯、児童・妊産婦・ひとり親世帯などの状況把握
2	高齢者世帯、生活困窮者世帯等支援が必要な方の様々な相談に応じ、助言・情報提供を行う
3	必要に応じて相談者を行政や専門機関、必要な福祉サービス等につなぐ
4	ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯への訪問活動(安否確認、見守り活動)
5	障害児(者)のいる世帯への訪問活動
6	子育て家庭への訪問活動
7	虐待防止などの見守り活動
8	高齢者を対象としたサロン事業への参加・協力
9	子ども・子育て家庭を対象としたサロン事業への参加・協力
10	障害児(者)を対象としたサロン事業への参加・協力
11	在宅高齢者への支援(配食の協力など)
12	生活困窮者世帯やひとり親家庭への支援(子ども食堂、子どもの学習教室の協力など)
13	通学路の見守り・声掛けなどの安全確保のための活動
14	遊び場などの地域の環境改善整備・危険箇所などの点検
15	行政が行う調査への協力
16	学校行事への参加・協力
17	災害に備えた活動(災害時要援護者台帳の作成、防災マップづくりなど)
18	その他 ()

問9 あなたの1か月あたりの平均的な活動日数はどのくらいですか。(○は1つ)

1 5日以下	2 6日から10日	3 11日から15日
4 16日から20日	5 21日以上	

問10 民生委員・児童委員を引き受けた動機についてお答えください。(○は1つ)

1 地域に貢献できると思ったから
2 やりがいがあると思ったから
3 これまでの仕事の経験が活かせると思ったから
4 自治会から頼まれたから
5 市町村から頼まれたから
6 前職から頼まれたから
7 気軽な気持ちから
8 その他 ()

問11 民生委員・児童委員あるいは主任児童委員の活動にやりがいを感じられていますか。

(○は1つ)

1 強く感じる	2 少し感じる
3 それほど感じない	4 ほとんど感じない

【問11で「1 強く感じる」、「2 少し感じる」と回答された方に伺います。】

問12 どのようなことに「やりがい」を感じますか。(自由記載)

--

問 13 民生委員・児童委員あるいは主任児童委員の活動において、あなたが「負担」を感じているのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

1	担当する世帯数が多い
2	担当する地域が広く、移動が大変である
3	業務量が多い
4	活動時間が長い
5	土日・祝日の活動が多い
6	プライバシーにどこまで踏み込んでいいのかわからない
7	個人情報など、支援にあたって必要な情報が事前に把握できない
8	民生委員・児童委員あるいは主任児童委員の役割としてかかわるべき案件かどうかの判断が難しい
9	要支援者やその家族からの拒否・拒絶
10	複雑で専門性の高い相談への対応
11	虐待か否かの判断がつかない
12	適切な相談機関や支援のつなぎ先がわからない
13	社会福祉に関する知識の習得や新たな情報の把握・理解
14	研修等への参加
15	活動に要する費用負担
16	委員同士の人間関係
17	相談できる窓口や相談できる仲間や先輩がいない
18	地域住民の民生委員・児童委員制度及びその活動に対する理解不足
19	自分の家族からの理解が得られない
20	その他 {

問 14 業務量が多いと感じるのはどのような活動ですか。(〇は1つまで)

1	生活上の困りごとを抱える方々の相談に応じるなど民生委員・児童委員あるいは主任児童委員としての活動
2	あなたが民生委員・児童委員あるいは主任児童委員としての活動範囲を超えると考える活動
3	1と2の両方

【問 14 で「2 民生委員・児童委員あるいは主任児童委員としての活動範囲を超えると考える活動」、「3 1と2の両方」と回答された方にお聞きします。】

問 15 「2 あなたが民生委員・児童委員あるいは主任児童委員としての活動範囲を超えると考える活動」とは具体的にどのような活動ですか。(自由記述)

--

【すべての方にお聞きします。】

問 16 民生委員・児童委員あるいは主任児童委員の活動を行いやすくするためには、何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

1	民生委員としての心構えや職務の内容などについての研修の充実
2	活動、相談に役立つ福祉制度や最新事例などの情報提供の充実
3	行政からの必要な個人情報の提供
4	活動費の充実
5	民生委員活動の広報周知による地域理解の促進
6	市役所/町役場/村役場における助言・相談等サポート体制の充実
7	社会福祉協議会からの支援体制の充実
8	地区民児協活動の強化
9	委員同士の交流・情報交換
10	前任者から後任者への引き継ぎの強化
11	先輩委員や会長が新任民生委員の悩みや相談を聞く機会の提供
12	先輩委員と新任民生委員が1対1で活動する期間の設定
13	町内会・自治会との連携強化
14	民生委員活動をサポートする福祉協力員制度などの体制づくり
15	その他 ()

問 17 民生委員・児童委員のなり手不足が課題となっています。なり手が不足していることについて考えられる理由は何だと思えますか。(○は3つまで)

1	民生委員に限らず、地域団体の役員（自治会長等）のなり手がいない
2	責任が重い
3	業務量が多い
4	地域で兼任しなければならない役職が多い
5	そもそも民生委員・児童委員制度を知らない人が多い
7	民生委員・児童委員の活動内容が十分に理解されていない
8	プライバシーに踏み込むことへのためらい
9	選任要件に見合う人選が困難
10	普段の仕事が忙しい
11	家庭との両立が難しい
12	地域の仕事で忙しい
13	もともと地域活動に熱心な人が少ない
14	その他 <input type="text"/>

問 18 今後、民生委員・児童委員のなり手を増やすためには、何が必要だと思えますか。(○は3つまで)

1	活動の負担軽減
2	候補者を育成する取組み
3	制度や活動の広報周知による地域理解の促進
4	年齢要件の緩和等推薦要件の見直しや推薦方法の改善
5	活動費の充実
6	市町村（職員）の目に見えるバックアップ
7	町内会・自治会との連携強化
8	その他 <input type="text"/>

【問 18 で「1 活動の負担軽減」と回答された方にお聞きします。】

問 19 活動の負担軽減を図るためには、どのようなことが有効だと考えますか。(自由記述)

--

～アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。～